

村川市兵衛殿昨十五日

首尾能御目見へ相

調被罷帰候付一筆

令啓候、此表別条無之  
權八郎堅固被罷在候

我等儀も無恙罷在候間  
可安御心候、先以先日之

御飛脚海陸無事

着申候哉、無心元

存候、然者來丑ノ年

竹嶋松嶋ヘ弥貴様

御舟御渡被成候筈

市兵方与今度申

談候、左様ニ御意得年

内より御支度可被成候

御仕合能帰朝之時分

可預御左右候、猶々竹嶋より

桐之木御取寄大坂迄

御届可被下候、大坂ニて

相良壱岐守殿藏屋鋪迄

御届可被成候、彼御留守

居衆深水仁兵衛殿川原

又兵衛殿与申仁両人御座候

彼御方ヘ内々申遣置候

御断ニ候ハ、無相違請

取可被申と存候、權八方ヘ

二本程我等も一本可申

受候、遠路乍御六借

資入候、此方ニ而琢敷木ニて

御座候間御無心申入候

壱岐守殿御屋鋪者

今度村川市兵衛御存知ニて

御座候、尚御參府之時分

可得御意候、恐惶謹言

龜山庄左衛門

十一月十六日

□□（花押）

大屋九右衛門様

人々御中

尚々今度も村川と  
弥其段申談候、明丑ノ  
年ハ貴様両島へ舟御  
渡候筈仕候、兼<sup>而</sup>より  
申渡候通少も相違  
無之候間左様<sup>ニ</sup>御心得  
可被成候、以上